

特装車 メンテナンスニュース

強力吸引作業車編

No. 61 2026・3

強力吸引作業車は架装物安全点検制度対象車両です

日常点検および年次点検整備を実施しましょう!



日々ダメージを受けている駆動部・可動部・油圧装置・作動油

『強力吸引作業車（ブロワ式）は、ブロワが起こす風の流れによって真空圧を発生させ、汚泥等を吸引しています』

- ・Vベルトは車両の動力をブロワに伝達しています。作業時は常に回転し、伸びや摩耗が発生します。定期的な張力管理を行ってください。
- ・ハッチロック装置が破損すると、積載物が漏れたりハッチが開く可能性があります。
- ・汚泥による配管腐蝕やパッキン劣化によるエアリークは吸引力の低下につながります。

※強力吸引作業車を安全かつ快適に使用するために、定期点検整備に加え「メーカー推奨点検」を実施しましょう。

《日常点検・定期点検整備・消耗部品交換を怠ると大変危険です》

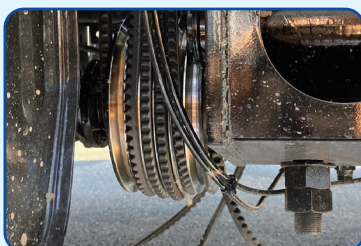
- ★4次キャッチャ内の水は、ブロワを冷却するなど非常に重要な役割を果たしています。始業前に必ず規定の水量があるか確認してください。
- ★劣化した潤滑油・作動油を使い続けると、油圧装置（油圧ポンプ、シリンダ等）の油漏れやカジリ・焼き付き・破損等の原因となります。
- ★給脂『グリスアップ』をしない状態で使い続けると駆動装置・可動部からの異音や摩耗・カジリ・焼き付き・錆び・固着により破損の原因となります。
- ★各部（レシーバハッチ、安全弁、油圧ホース、フロート等）の回縛・緩み・損傷等の点検を怠ると作動不良や破損の原因となります。

不具合事例

給脂不足によるスパイダー破損



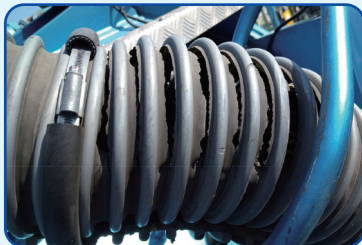
Vベルト伸長による反転・脱落



ベルト折損



ホース劣化による亀裂



ブロワ焼付き



ベアリング焼付き



フロート割れ



当たり板（正常）



当たり板（摩耗）



穴が空く前に交換してください

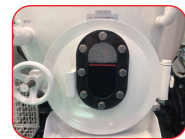


特装車両の安全・安心は純正部品で機械も健康



冷却水が不足すると！

強力吸引作業車（ブロフ式）は、3次キャッチャと4次キャッチャに水を封入しています。
 特に4次キャッチャの封入水は、ブロフの冷却・清掃・シール（隙間をなくす）など、非常に重要な役割を果たしており、不足するとブロフがロックするなど、重大な故障につながります。
 必ず規定水量を確認し、作業中に少なくなってきたら補充を行い、汚れてきたら交換してください。

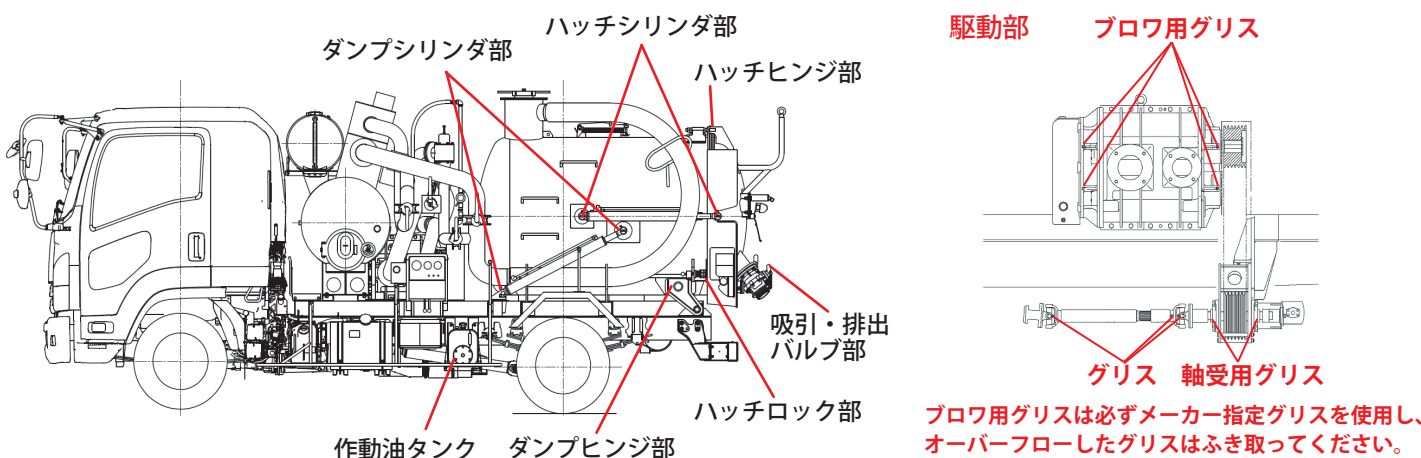


4次キャッチャ窓

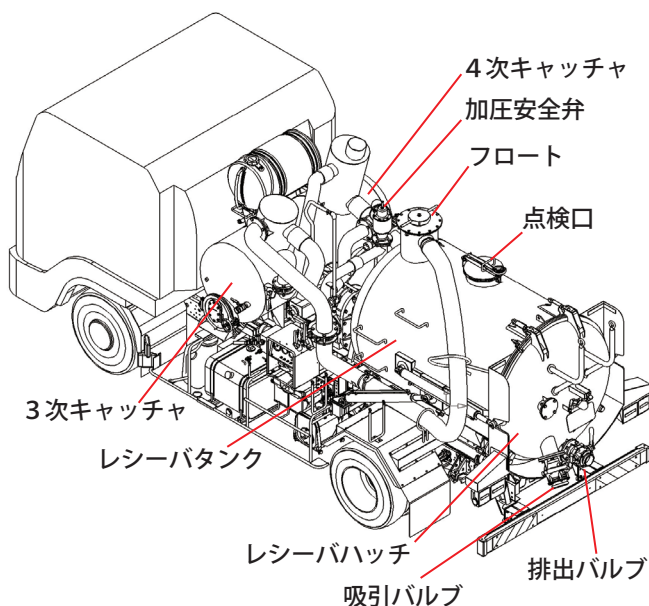
潤滑油・作動油交換、給脂（グリスアップ）を怠ると！

- ★ ブロフ・油圧ポンプは高回転・高圧力で作動し、内部摩擦や焼き付き等を防ぐため、指定の潤滑油・作動油を使用しています。潤滑油・作動油は著しい温度変化や化学変化による酸化、また作動部分から侵入する水分や鉄粉等により劣化が進みます。劣化した潤滑油・作動油を使い続けるとスラッジにより精密部品である油圧ポンプ・油圧シリンダ・コントロールバルブの油漏れ・カジリ・焼き付き・破損の原因となります。
- ★ 可動部には常に高い荷重・摩擦抵抗が掛かっています。給脂『グリスアップ』を怠ると可動面に油膜が無くなる事で摩擦力が発生し異常摩耗・カジリ・焼き付き等の原因となります。特に高い荷重が掛かる部分では可動部の固着・カジリ・焼き付き現象が発生し最悪の場合は破損する事もあります。また油分（油膜）が無くなり、空気や水を遮断できず錆びが発生し固着の原因となります。

潤滑油・作動油の管理とグリスアップが必要な個所



各部の名称と点検内容（名称・点検内容は各メーカー取扱説明書を参照ねがいます）



点検整備実施記録簿（強力吸引作業車用）													
ユーザ名		種	製造番号	登録番号	アーム	HT	進行距離	km	納入年月	在			
型		式			吸引圧	MPa	圧力	MPa	シリアルNo.	月			
車	No.	点検箇所	点検内容	結果	異常	備考	No.	点検箇所	点検内容	結果	異常	備考	
	1	エンジン	油圧	異常	異常			2	エンジン	油圧	異常	異常	
	2	エンジン	冷却水	異常	異常			3	エンジン	冷却水	異常	異常	
	3	エンジン	オイル	異常	異常			4	エンジン	オイル	異常	異常	
	4	エンジン	ベルト	異常	異常			5	エンジン	ベルト	異常	異常	
	5	エンジン	ファン	異常	異常			6	エンジン	ファン	異常	異常	
	6	エンジン	排気	異常	異常			7	エンジン	排気	異常	異常	
	7	エンジン	照明	異常	異常			8	エンジン	照明	異常	異常	
	8	エンジン	ブレーキ	異常	異常			9	エンジン	ブレーキ	異常	異常	
	9	エンジン	タイヤ	異常	異常			10	エンジン	タイヤ	異常	異常	
ブロ	No.	点検箇所	点検内容	結果	異常	備考	No.	点検箇所	点検内容	結果	異常	備考	
	1	ブロフ	油圧	異常	異常			1	ブロフ	油圧	異常	異常	
	2	ブロフ	冷却水	異常	異常			2	ブロフ	冷却水	異常	異常	
	3	ブロフ	オイル	異常	異常			3	ブロフ	オイル	異常	異常	
	4	ブロフ	ベルト	異常	異常			4	ブロフ	ベルト	異常	異常	
	5	ブロフ	ファン	異常	異常			5	ブロフ	ファン	異常	異常	
	6	ブロフ	排気	異常	異常			6	ブロフ	排気	異常	異常	
	7	ブロフ	照明	異常	異常			7	ブロフ	照明	異常	異常	
	8	ブロフ	ブレーキ	異常	異常			8	ブロフ	ブレーキ	異常	異常	
	9	ブロフ	タイヤ	異常	異常			9	ブロフ	タイヤ	異常	異常	

強力吸引作業車は「架装物安全点検制度」対象機種です。1年に1回、定期点検を行いましょう。

『年次点検』を実施した車両には架装物安全点検制度ステッカーを貼付け



- ※ 本ステッカーは、架装物の安心・安全の指標としてご利用いただいております。なお、架装物の安全点検制度に必要なツールと技術を有した車体工業会に登録したメーカーの指定サービス工場が貼付けできます。
- 架装物の性能を維持することができます。
- 安心感を持って業務（作業）ができます。
- 故障、修理による稼働率の低下を防ぎます。
- 修理費を最小限に抑えることができます。

※特装車の点検整備・部品交換は専門的な技術と設備のある、各メーカー指定サービス工場でお受けください。

一般社団法人 日本自動車車体工業会 特装部会 サービス委員会